

静岡病院ニュース

順天堂大学^{医学部}附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 51
2012年7月10日



(H24年6月 伊豆市滑沢溪谷)

看護部長就任のご挨拶



看護部長

堀江 みどり

4月より看護部長に就任いたしました。看護部では、「仁」(人を慈しみ思いやる心)の精神を基盤として、患者さんの尊厳を守り、患者さんとご家族が満足できる最善の看護を提供することを目指しています。質の高い看護を提供するために、7分野10名の認定看護師が患者さんやご家族に指導や援助を実践しています。今年度も9回の公開講座を予定していますのでご活用下さい。

外来では、皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となり1月より、フットケア外来を開設しました。病棟では多職種との連携によるチーム医療に力を入れています。褥瘡対策、栄養サポート、感染対策チームなどが病棟を巡回して多面的な視点から患者さんにとって最適な医療が提供できるようにしています。

また、4月には98名の新しい看護師を迎えました。9月からは順天堂保健看護学部の臨床実習が始まります。看護師をみんなで育てる方針で、根拠のある看護実践能力を備えた自律した看護師の育成に努めています。

4月より、医療サービスマス支援センターが新設され、病院と地域との連携が強化されました。地域医療に貢献できるよう努力してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

新しくなりました

新生児センターの紹介

新生児センター長 先任准教授

永田 智



〈新しくなった受付〉

当院の新生児センターは、1982年（昭和57年）4月に静岡県東部地域を対象に地域新生児医療体制の中心となる新生児センターとして開設され、4半世紀を過ぎたところです。当センターの最大の特徴は、一般の病院でみられない小さな赤ちゃんや病気をもつた赤ちゃんを24時間365日迎えに行ける新生児専用救急車を備えていることです。こ



の体制は、柴田 隆順天堂大学名誉教授（1999年に定年退職）が整えられたもので、今でも全国の新生児医療に大きな影響を与えております。このような実績が認められ、2008年8月からは県下で3本の指に入る総合周産期センターとして、出産に際し危険が予想される妊婦さんの搬送を行い、産科と協力して胎児管理から出生後の新生児医療を担って参りました。

当センターの病床数は、集中的な治療が必要な重症の赤ちゃんをみる「新生児集中治療病床（NICU）12床」と、「状態が回復した赤ちゃんをみる病床13床」の合計25床でしたが、一昨年くらいから静岡県東部の出生数が増え、それだけでは追いつかなくなってきました。そこで、今年5月から、「状態が回復した赤ちゃんをみる病床」を「NICUに次ぐ集

集中的な治療が可能な設備をもつ継続保育病床（GCU）18床」として生まれ変わらせることになりました。より大きなスペースが必要になったため、大幅に病室を改造して、内装も新しく生まれ変わりました。

赤ちゃんの様子をいつも監視しているモニターやセンサー、呼吸が苦しくなった赤ちゃん





〈セントラルモニターシステム〉

を助ける呼吸器も最新の機能をもつものが揃っています。より呼吸の苦しい赤ちゃんを救う一酸化チツ素というガスを吸入する設備や、頭やからだを冷やして脳のダメージを少なくする治療も積極的に取り入れて、最新の知識・技術と細心の注意を払って、日夜スタッフは小さな赤ちゃんのために頑張っています。

当センターが、出産をむかえる妊婦さんに大きな安心を与え、たいへんなお産を乗り越えて生まれてきた赤ちゃん



〈赤ちゃん保育器〉

の少しでも助けになれるよう、医師、看護師、スタッフ一丸となつて頑張りますので、どうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。

病院よりお知らせ

NICU・3AICUの改修工事、およびD棟・E棟の耐震工事にとまない、患者さまおよび関係者の方々にはご迷惑をおかけしております。より、安心・快適に過ごしていただけるよう病院職員が一丸となつて努力いたしますのでよろしくお願ひします。

職員紹介



脳神経外科
先任准教授

山本 拓史

Profile

順天堂大学医学部卒
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会認定医
日本神経内視鏡学会技術指導医
日本航空医療学会指導医
日本神経外傷学会学術評議委員

平成11年9月に伊豆のこの地に赴任し、今年で早12年が経ちました。当時、頭蓋底外科を専門とする前田 稔先生(現：順天堂大学静岡病院名誉院長)にご指導を仰ぎ、平成18年から森健太郎先生(現：防衛医科大学校脳神経外科教授)のもとで頭蓋底手術をはじめ脳血管障害について多くを学ばせていただいておりますが、このたび平成24年4月より脳神経外科科長を

拝命致しました。

私が赴任してからの十余年、例に違わず静岡県東部地域も高齢化が進みつつあります。従来、低侵襲手術を心掛けてきましたが、今後はより一層の安全な手術と特に高齢者に対する負荷の少ない治療が求められております。その為には、最新医療機器による正確な診断に基づき確実な治療を実践することが重要であると考え、救急疾患への緊急対応をはじめ日常診療の体制を整えております。通院中の患者様はもとより、初診の患者様及びご家族様におかれましては安心に受診していただき、ご不明な点につきましては各担当医、主治医にお気軽にお尋ね頂きますようお願い致します。

『GI』を上手に利用して 血糖コントロール

栄養科 管理栄養士 飯野 みな美

皆さんは『GI』という言葉を知っていますか？

GI (glycemic index) とは、食品における血糖値の上がりやすさを示す値です。GIが低い食品では血糖値はゆっくり上昇します。食後の急激な血糖上昇は血管にダメージを与え、糖尿病の発症や進行に強く関連することがわかってきています。ただし、GIの低い食品でも、たくさん食べればカロリーオーバーとなり、体重増加の原因となります。GIが低い食品だから食べて大丈夫」ところを誤解してはならず、血糖コントロールのために普段食べている食品をGIの低いものに置き換える、食品の組合せによってGIを低くするなどといった考え方がお勧めです。GIの高いものには炭水化物(ごはん・パン・麺・芋など)があります。それと比べ、タンパク質(肉、魚、大豆製品)、野菜、きのこ類、海藻類などはGIが低い物が多いです。朝トーストとコーヒーだけでなく、サラダやゆで卵などを一緒に食べるようにしましょう。食事のバランスもよくなり、トーストのみを摂取するよりも血糖の上昇が緩やかになります。また、トーストはGIの低いライ麦パンを用いるとよいでしょう。

高GIの主食



- ・精白米・食パン
- ・そうめん・うどん

低GIの主食



- ・玄米・ライ麦パン
- ・そば

チェンジ!

新しい白内障の手術を考案して
国内外の賞を受賞

眼科 先任准教授 太田 俊彦

白内障手術における新しい手術法(眼内レンズ強膜内固定術)の発表により、今年1月の第35回日本眼科学会において、第7回ファイザーフィルムアワード・グランプリを受賞しました。今年4月に米国シカゴで開催されたASCRS(米国白内障屈折矯正手術学会)においても New techniques 部門賞を受賞しました。ぜひ、この順天堂静岡病院発の手術を日本のみならず世界中に普及させたいと考えています。



〈眼内レンズ強膜内固定術〉

市民公開講座のご案内

◇平成24年9月15日(土) 15:00~17:00
 演題/痛っ!その腰痛、ホントに大丈夫
 講師/整形外科系井 陽・理学療法士 小林篤郎
 場所/順天堂大学保健看護学部三島キャンパス

【お問い合わせ先】
 がん治療センター事務局
 (電話)055-948-3111(代)
 2ヶ月に1度、主にがんに関連した内容で、医療に関する様々な講演会を開催しています。申込不要、参加費無料です。

お知らせ

患者さまをご紹介頂く先生方へ

当院では、効率的な診療を受けていただくために、専用の診療情報提供書をご用意しております。専用の診療情報提供書をご希望の場合は、電話またはFAXにて下記へご請求下さい。

請求先 : 順天堂大学医学部附属静岡病院 医療連携室
 電話 : 055-948-3111 (内線) 3550
 フリーダイヤル : 0120-78-9914 FAX : 055-946-0858